FULLBACK

増設バッテリユニット

SAB-A21/A22 (SAU-A202 用)
SAB-A31/A32 (SAU-A302 用)
SAB-A51/A52 (SAU-A502 用)

取扱説明書

サンケン電気株式会社

はじめに

このたびは、弊社ＵＰＳ用増設バッテリユニットをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
本製品は、サンケン常時インバータ給電方式ＵＰＳ「SAU-A シリーズ」専用のオプションユニットです。

本製品を末永く安全にご使用いただくために、ご使用前に必ず本書をお読みください。
また、本書は日常の運用時等にいつでも見られるように、本製品のそばの安全な場所に大切に保管してください。
本書をお読みいただき、正しくお使いくださいますようお願いいたします。

目　　次

はじめに

目次

安全上の注意事項（安全にお使いいただくために）　……　３

商品の確認　……　１０

設置　……　１２

接続　……　１８

保守・点検について　……　２２

標準仕様　……　２４

外形寸法　……　２５

安全上の注意事項（安全にお使いいただくために）

本書には本製品を安全に取り扱うために必要な情報が記載されています。
また、本製品を取り扱う上での危険性や注意点などについても説明されています。
これらの警告や注意を守らない場合には、死亡を含む人的な傷害や財産への損害などにつながる可能性があります。

本書の安全についての記号と意味

◇! **危険**　指示に従わなかった場合、使用者や第三者が死亡または重度の傷害を負うおそれがあることを示しています。

⚠ **注意**　指示に従わなかった場合、使用者や第三者が傷害を負ったり本製品を破損させるおそれがあることを示しています。

図記号の意味			
	この記号は危険を促す事項を示しています。 ◇の中に具体的な危険内容（左図の場合は一般的な危険）が描かれています。		
	一般的な危険	感電のおそれあり	火災のおそれあり
	この記号は注意を促す事項を示しています。 △の中に具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。		
	一般的な注意	感電注意	
	この記号は禁止（してはいけないこと）を示しています。 ⃠の中に具体的な禁止内容（左図の場合は一般的な禁止項目）が描かれています。		
	一般的な禁止項目	分解禁止	火気使用禁止
	この記号は強制（必ずしなければならないこと）を示しています。 ●の中に具体的な指示内容（左図の場合は一般的な強制項目）が描かれています。		
	一般的な強制項目	接地せよ	

◇! 危　険	
	感電のおそれあり 分解、修理、改造は絶対にしないでください。 本製品内部には高電圧回路があり、誤って触ると感電するおそれがあり、危険です。
	火災のおそれあり 本製品から異臭、異音、発煙、発火等が発生した場合は、すぐに強制停止して、入力コンセントを抜くか外部設置の受電用ブレーカをOFFにしてください。その後、お買い上げの販売店、又は弊社営業所にご連絡ください。 万一火災等になった場合、電気火災用（粉末・ABC）消火器を使用してください。 水等での消火はしないでください。

輸送・移動時の注意

⚠ 注　意	
	輸送、移動の際は、装置を10度以上傾けないようにしてください。 装置の転倒などで、けがをするおそれがあります。
	輸送、移動の際は、装置に貼られた質量表示を確認の上、必要ならば別途輸送機器を用意して作業を行ってください。 けがのおそれがあります。

据付け上の注意

⚠ 注　意	
	吸排気口をふさがないでください。（UPS本体取扱説明書の「設置と接続」の項目を参照してください。） 吸排気口をふさぐと装置の内部温度が上昇し、火災の原因になることがあります。
	据付けは装置の質量に耐える所に、取扱説明書通りに行ってください。 据付けに不備があると、装置の移動、転倒などによりけがのおそれがあります。
	キャスターストッパーを確実にセットしてください。 振動による移動、転倒などでけがのおそれがあります。
	装置は固定金具などを別途用意の上確実に固定してください。 地震などの衝撃、震動により移動、転倒などでけがのおそれがあります。
	次のような環境での使用、保管は絶対にしないでください。 故障、損傷、劣化などによって火災などの原因になることがあります。 ・カタログ、取扱説明書に記載の周囲環境条件からはずれた高温、低温、多湿となる場所。 ・直射日光のあたる場所。 ・ストーブなどの熱源から熱を直接受ける場所。 ・震動、衝撃の加わる場所。 ・火花が発生する機器の近傍。 ・ふんじん、腐食性ガス、塩分、可燃性ガス、水滴がある場所。 ・屋外 ・海抜1000mを越える場所。 ・その他、上記に類するような環境。

配線上の注意

⚠ 注　意	
	配線工事は専門業者に依頼してください。 配線工事に不備があると、感電、火災の原因になることがあります。

使用上の注意

⚠ 注　意	
	運転を開始する前に負荷側の安全を確認し、UPS 本体取扱説明書に従って操作を行ってください。
	接続する機器の消費電力の合計は本製品の定格出力容量以下としてください。 故障の原因になるおそれがあります。
	本製品周辺での喫煙、火器の使用はしないでください。 爆発、破損により、けが、火災等のおそれがあります。
	本製品の上部に花瓶などの水の入った容器等を置かないでください。 容器等が転倒した場合、こぼれた水での感電、本製品からの火災の原因になるおそれがあります。
	本製品の上部に腰掛けたり、乗ったり踏み台にしたり、よりかかったりしないでください。 本製品の故障だけでなく、転倒などでけがのおそれがあります。
	冷却ファンに指や棒などを入れないでください。 ファンが破損し、破片などによりけがのおそれがあります。
	本製品の端子、コンセント、バッテリコネクタ、排気口などに金属棒、指などを差し込まないでください。感電、けがのおそれがあります。
	本製品使用中は、入力と出力はショートさせないでください。 電流が環流し、アークが発生してやけど、視覚の障害などのおそれがあります。
	次のような用途には絶対に使用しないでください。 a) 人命に直接かかわる医療機器等への使用 b) 人身の損傷に至る可能性のある電車、エレベータ等への使用 c) 社会的、公共的に重要なコンピュータシステム等への使用 d) これらに準ずる装置 上記負荷設備に使用する場合は、事前に弊社にご相談ください。 人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置などについては、システムの多重化、非常用発電設備の設置など、運用、維持、管理について特別な配慮が必要となります。
	本製品は、日本以外で使用しないでください。 本製品を国外で使用すると、電圧、使用環境等の変化により発煙、発火等の原因となる場合があります。 国外で使用する場合は、事前に弊社にご相談ください。
	本装置は磁気的漏洩があります。磁気の影響を受けやすい機器(CRT等)は場合によっては本製品から離して設置してください。
	UPSを異常状態のままで使用しないでください。特に、煙･音･においに異常のある場合は、すみやかに本製品を停止してください。装置故障および事故の原因となるおそれがあります。本製品停止後、弊社販売店またはコールセンターへご連絡ください。
	UPSの絶縁耐圧試験や絶縁抵抗試験は実施しないでください。装置故障および事故の原因となるおそれがあります。
	UPSに起因する事故があっても、装置･接続機器･ソフトウェアの異常･故障に対する障害･その他二次的な波及損害を含むすべての損害の補償には応じかねます。

保管上の注意

⚠ 注　意	
	以下のような場所での保管はしないでください。故障、損傷、劣化等によって火災等の原因となるおそれがあります。 ・カタログ、本書に記載された周囲環境条件からはずれた高温、低温、多湿となる場所（保管条件：周囲温度0~40℃、相対湿度90%以下、結露なきこと） ・直射日光があたる場所 ・ストーブ等の熱源から熱を直接受ける場所 ・振動、衝撃の加わる場所 ・火花が発生する機器の近く ・ふんじん、腐食性ガス、塩分、可燃性ガス、水滴がある場所 ・屋外 ・海抜1000mを越える場所 ・その他上記に類するような環境
	長期保管後は、バッテリを充電してください。充電が不十分な場合、正常にバックアップできません。 充電は UPS を受電状態にする（停止時充電[充電継続(工場出荷設定)]の場合）か、または UPS を運転することで行われます。 充電時間は本書標準仕様（p24）のバッテリ充電時間を参照してください。

保守・点検上の注意

⚠ 注　意	
	教育を受けたサービスマン以外は、カバーを外さないでください。 装置の修理、または故障部分の交換は、お買い上げ販売店、または弊社コールセンターまでご連絡ください。 **名称：サンケン電気 機器コールセンター** **電話：049-266-8528** カバーを開けると感電、やけどのおそれがあります。 充電電圧のないことを確認する前に、コンデンサやバッテリの端子など充電部には触らないでください。充電電圧で感電するおそれがあります。
	保守、点検、修理時は取扱説明書をよく読んで、ご理解の上、作業を実施してください。作業に不備があると、感電、火災のおそれがあります。 ・作業時に時計などの金属等を外してください。 金属をつけたまま作業すると、感電、やけどのおそれがあります。 ・作業は、外部設置のブレーカを［OFF］にし、電源を切り離してから行ってください。 感電、けがのおそれがあります。 ・絶縁対策工具（スパナなど）を使用してください。 絶縁対策工具以外の場合は、感電のおそれがあります。 ・濡れた手で装置に触らないでください。 感電のおそれがあります。 ・質量（製品に表示してあります。）を確認して、移動、分解等をしてください。 不用意に移動、分解等をするとけがのおそれがあります。
	交換部品は同一定格、同一タイプとし、新旧品を混ぜて交換しないでください。 火災の原因になることもあります。
	バッテリは定期的（周囲温度25℃の環境で4～5年が目安です）に交換してください。 バッテリから漏液した場合は皮膚や衣類に付着させないでください。万一付着した場合は、きれいな水で洗い流してください。 特に液が目に入った時は、すぐにきれいな水で洗った後医師の治療を受けてください。液が目に入ると失明、皮膚につくとやけどのおそれもあります。 交換時期を過ぎたバッテリは火災の原因になることがあります。 バッテリを交換する時は、本体部、バッテリ部に貼られた質量表示を確認の上、必要なら二人以上で作業を行ってください。 腰などを傷めるおそれがあります。
	使用済みのバッテリは、そのまま廃棄せず、お買い上げの販売店・最寄りの営業所にご連絡ください。 バッテリは内部に劇物の希硫酸を保持しています。バッテリを分解、改造、破壊もしくは火の中に入れないでください。傷害や火災のおそれがあります。
	使用期限の過ぎたバッテリは使用しないでください。 発煙、発火の原因になることがあります。

その他の注意

⚠ 注　意	
	本製品は、日本国内での使用を目的に製造されています。 本装置を国外で使用すると、電圧、使用環境などが異なり発煙、発火の原因になることがあります。 国外で使用する場合は、事前に弊社にご相談ください。

連絡先

本製品の修理および故障部品の交換等は、お買い上げ販売店、または弊社コールセンターまでご連絡ください。

名称：サンケン電気 機器コールセンター
電話：049-266-8528

バッテリに関する注意事項

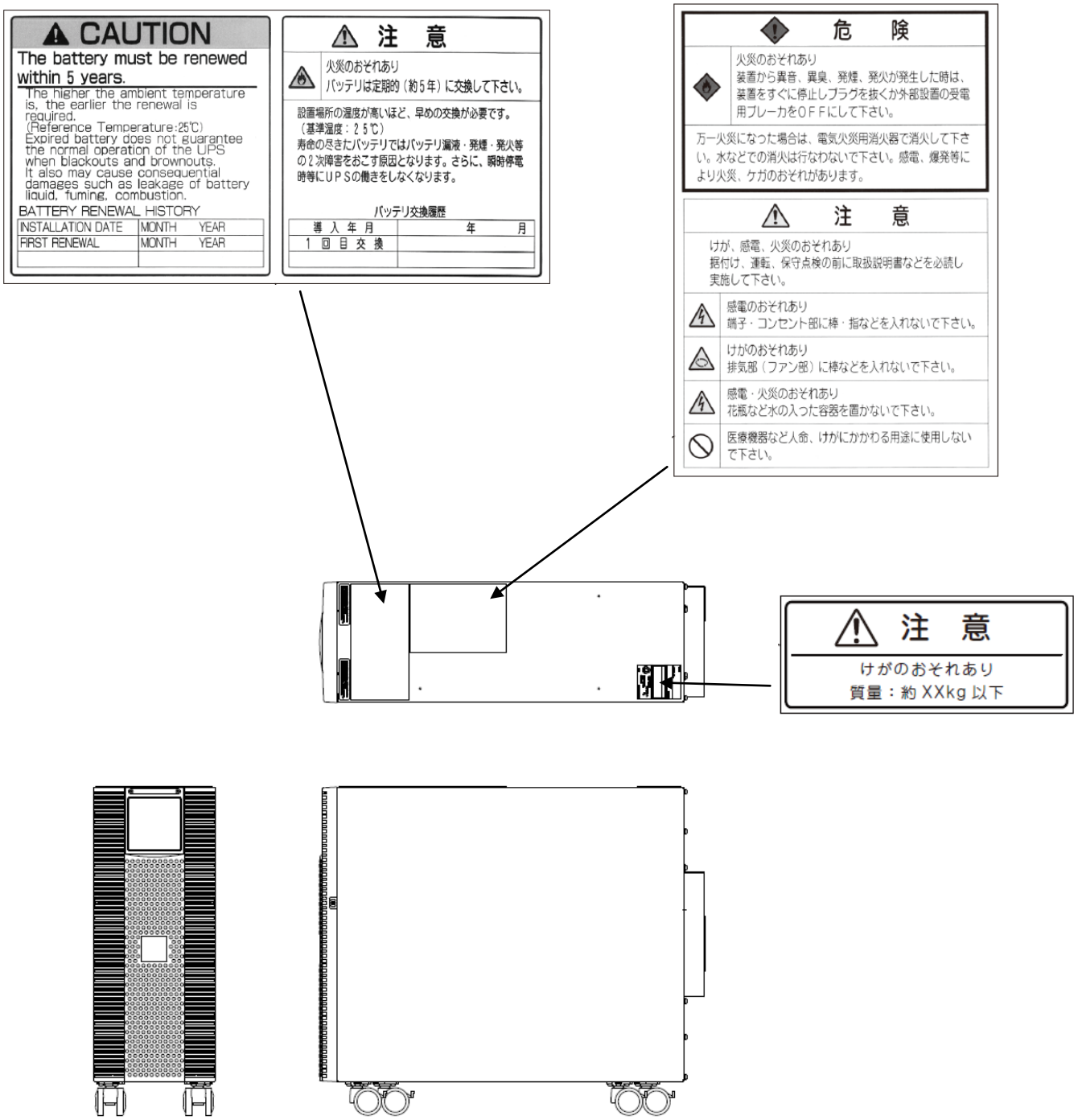
（1） バッテリの寿命は設置場所の周囲温度に大きく影響を受けるため、周囲温度の低い場所で使用することをお勧めいたします。推奨温度としては５～25℃程度です。

（2） バッテリの寿命は周囲温度 25℃で約４～５年です。定期的な交換が必要です。
周囲温度が周囲温度 25℃より高い状態で使用した場合、寿命が４～５年より短くなりますので早めの交換をお勧めいたします。寿命期を過ぎたバッテリでは無停電の機能がなくなるのはもとより、それを使い続ける事により、バッテリ液漏れ・発煙・発火等の２次障害を起こす原因となります。

（3） UPS を使用しない場合でも定期的にバッテリの補充電を行わないとバッテリ容量が低下し、回復できなくなりますので、３ヶ月に一回程度の充電を行ってください。充電の方法は交流入力を受電し、UPS 本体裏面の入力ブレーカを”入”にすることで行われます。（工場出荷設定時）
充電器の設定は UPS 取扱説明書(6-1 項)を参照ください。充電時間は本書標準仕様（p24）のバッテリ充電時間を参照ください。

注意ラベルの確認

製品本体にも安全上の注意事項が表示されています。
よくご確認いただき、正しくお使いください。

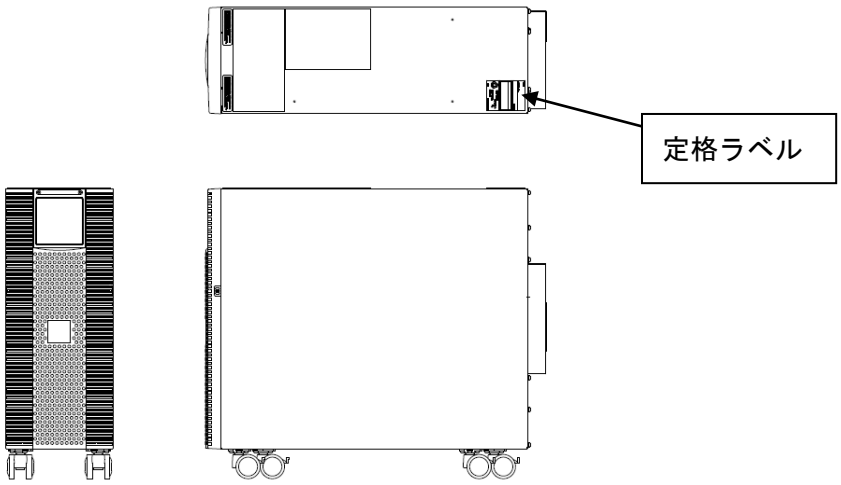


商品の確認

開梱されましたら、ケースのへこみ等、輸送中の損傷がないか確認してください。
ご不審な点、その他不具合等がありましたら、ご使用を中止し、すぐにお買上げ販売店または最寄りの弊社営業所へ御連絡ください。

⚠ 注　意	
❗	**重量物につき、取扱に注意してください。けがのおそれがあります。** **本製品の質量** **SAB-A21：約 41kg　、SAB-A22：約 65kg** **SAB-A31：約 46kg　、SAB-A32：約 80kg** **SAB-A51：約 81kg　、SAB-A52：約 139kg** ・重量物ですので落下させないでください。 移動する場合など身体を痛めることが無いよう充分に注意してください。

定格ラベル位置



形式の確認

定格ラベルを確認し、製品名、容量が正しいことを確認してください。

形式の表示方法

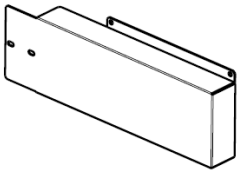
SAB-A21　・・・　SAU-A202 用　1 パック(20 分バックアップ用)増設バッテリ
SAB-A22　・・・　SAU-A202 用　2 パック(40 分バックアップ用)増設バッテリ
SAB-A31　・・・　SAU-A302 用　1 パック(20 分バックアップ用)増設バッテリ
SAB-A32　・・・　SAU-A302 用　2 パック(40 分バックアップ用)増設バッテリ
SAB-A51　・・・　SAU-A502 用　1 パック(20 分バックアップ用)増設バッテリ
SAB-A52　・・・　SAU-A502 用　2 パック(40 分バックアップ用)増設バッテリ

付属品の確認

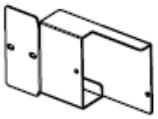
下記の付属品があることを確認してください。

●SAB-A21/A22/A31/A32 の付属品

①配線カバー　・・・・・１個
②連結金具　・・・・・２個
③延長カバー　・・・・・１個
④キャスターホルダー　・・・４個
⑤取り付けネジ(M3)　・・・・１個
⑥取り付けネジ(M4)　・・・・４個
⑦取扱説明書　・・・・・１部



配線カバー



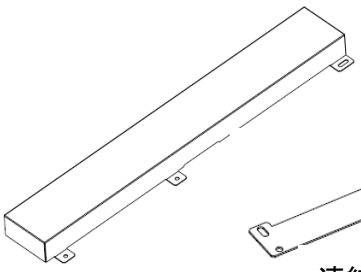
延長カバー

連結金具

キャスターホルダー

●SAB-A51/A52 の付属品

①配線カバー　・・・・・１個
②連結金具Ａ　・・・・・１個
③連結金具Ｂ　・・・・・１個
④キャスターホルダー　・・・４個
⑤取り付けネジ(M3)　・・・・１個
⑥取り付けネジ(M4)　・・・・２個
⑦取扱説明書　・・・・・１部



配線カバー

連結金具 B

連結金具 A

キャスターホルダー

設　　置

設置上の注意

⚠ 注　意	
	排気口をふさがないでください。 本製品の内部温度が上昇し、火災等の原因になるおそれがあります。
	設置場所は本製品の重量に注意し、安定した場所に設置して確実に固定してください。 ラックに取付ける場合は製品重量を支えるサポートを用意してください。 落下や転倒等によりけがをするおそれがあります。
	感電のおそれあり 安全に作業するために、身につけている貴金属類（時計や指輪など導電性のもの）を外してください。 また、使用される工具（プラスドライバ等）には絶縁テープを巻くなどして、誤って本製品内部の部品や端子に触れても感電したり、短絡事故等が発生しないようにしてください。 本製品の内部には高電圧部分やバッテリが内蔵されていますので、十分注意して作業を行ってください。
	以下のような環境での使用、保管等は絶対にしないでください。故障、損傷、劣化等によって火災等の原因となるおそれがあります。 ・カタログ、本書に記載された周囲環境条件からはずれた高温、低温、多湿、となる場所 ・直射日光があたる場所 ・ストーブ等の熱源から熱を直接受ける場所 ・振動、衝撃の加わる場所 ・火花が発生する機器の近く ・ふんじん、腐食性ガス、塩分、可燃性ガス、水滴がある場所 ・屋外 ・海抜1000mを越える場所 ・その他上記に類するような環境
	重量物につき取り扱いに注意してください。けがのおそれがあります。 また、落下させないでください。けが、破損のおそれがあります。 本製品の重量 SAB-A21：約 41kg　、SAB-A22：約 65kg SAB-A31：約 46kg　、SAB-A32：約 80kg SAB-A51：約 81kg　、SAB-A52：約 139kg

設置について

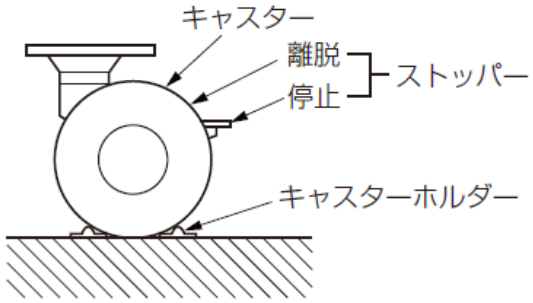
装置周囲は壁などに密着させないでください。また、熱がこもらないように注意してください。
UPS 本体の取扱説明書の設置の項目を参照して設置スペースを確保してください。

⚠ 注　意

設置については必ずUPS本体の取扱説明書の設置の項目を参照してください。
故障、破損のおそれがあります。

固定について

通常は縦置きで設置してください。設置後はキャスターストッパーを停止の位置に下げて固定し、付属のキャスターホルダーを差し込んでください。

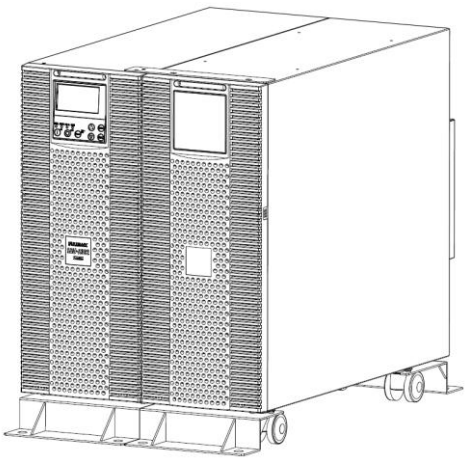


キャスターのストッパーをかけてください。
装置の移動などで、けがのおそれがあります。

さらに転倒防止を強化する場合は下記のオプション金具を使用して固定してください。

	固定金具	適応機種
バッテリユニット	RMB−39	SAB-A21/A22 SAB-A31/A32
	RMB−60	SAB-A51/A52
UPS本体	RMB−38	SAU-A202 SAU-A302
	RMB−59	SAU-A502

（詳しくは固定金具の取扱説明書を参照ください。）

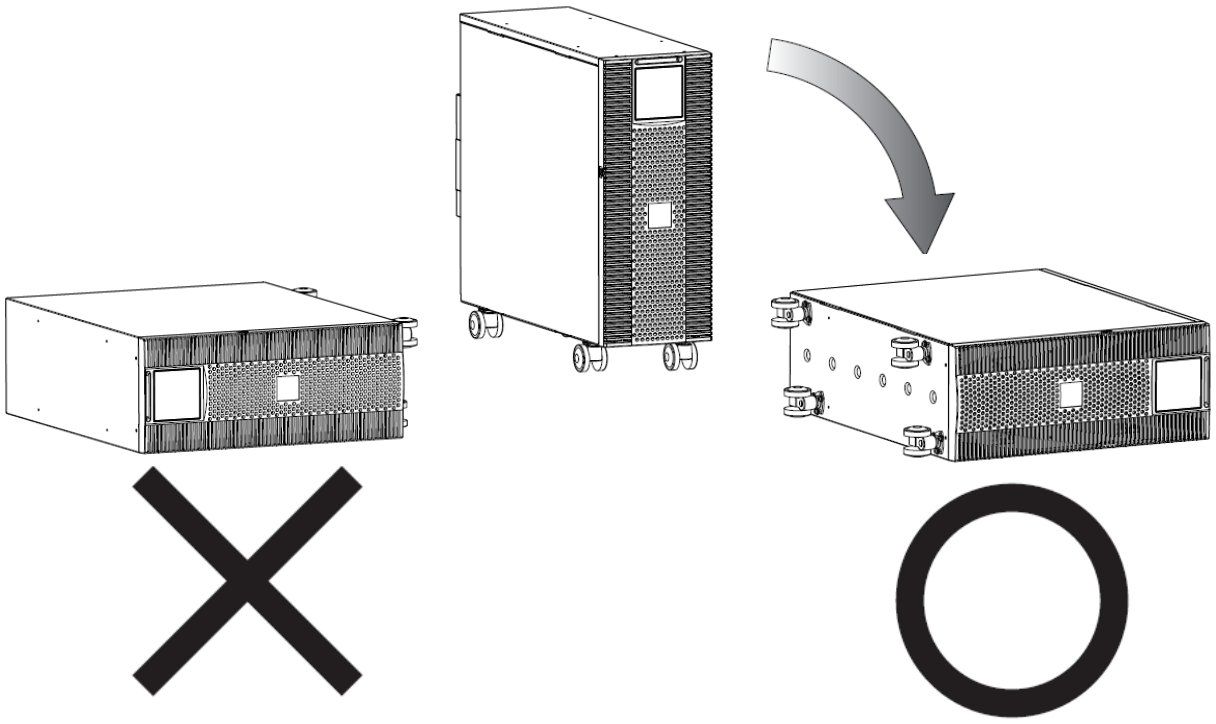


地震による装置移動・転倒などの防止用として、固定金具（オプション）で固定してください。
装置の移動、転倒などで、けがのおそれがあります。

横置きで設置する場合（SAB-A51/A52 を除く）

SAB-A21/A22 および SAB-A31/32 は横置きでの設置が可能です。
横置きの場合は下図のとおり右側へ寝かせる方向で設置してください。
（※SAB-A51/A52 は横置きに対応しておりません。必ず縦置きで設置してください。）

⚠ 注　意	
❗	ＵＰＳは重量物のため けがのないよう十分に注意して作業してください。
🚫	横置きする際、装置に衝撃を与えないでください。 故障、破損の原因となります。



19 インチラックへの取付け（SAB-A51/A52 を除く）

SAB-A21/A22 および SAB-A31/32 は専用ラック固定金具を使用して 19 インチラックに設置することができます。

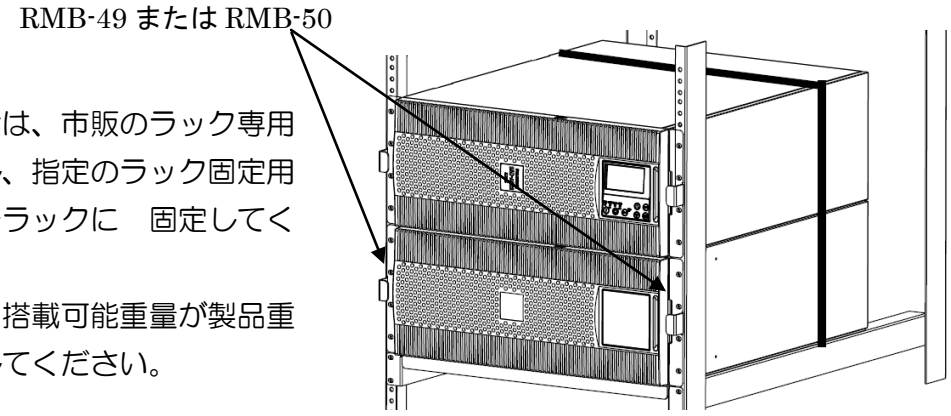
（※SAB-A51/A52 は横置きに対応しておりません。必ず縦置きで設置してください。）

ラック固定金具	適応機種
RMB－49（EIA 用）	SAB-A21/A22、SAB-A31/A32
RMB－50（JIS 用）	SAB-A21/A22、SAB-A31/A32

詳しくはラック固定金具の取扱説明書を参照ください。

※ラックに設置する場合は、市販のラック専用重量棚に製品を設置し、指定のラック固定用専用金具で製品前部をラックに　固定してください。
ラック専用重量棚は、搭載可能重量が製品重量以上のものを使用してください。

取付イメージ図



⚠ 注　意

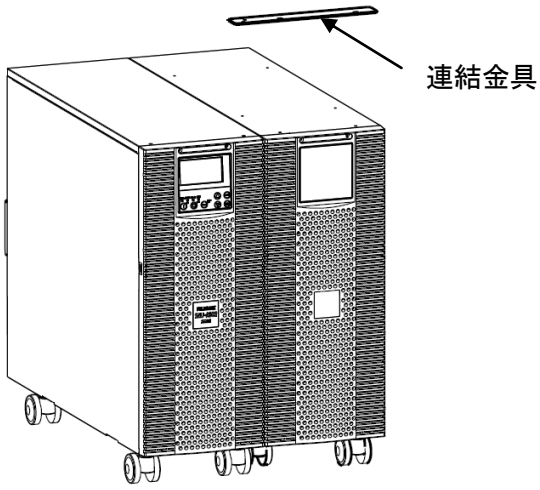
本装置はバッテリを内蔵しているため、重量が重くなっております。
ラックに設置する場合はできるだけ下段に設置するなど、ラックの重心を下げる考慮をしてください。

UPS との連結方法（SAB-A21/A22/A31/A32）

⚠ 注　意	
❗	**設置作業は必ず２人以上で作業を行ってください。** 重量物につき、けが、装置破損のおそれがあります。
❗	**ＵＰＳは重量物のため** **けがのないよう十分に注意して作業してください。**
🚫	**横置きする際、装置に衝撃を与えないでください。** **故障、破損の原因となります。**

●縦置きの場合

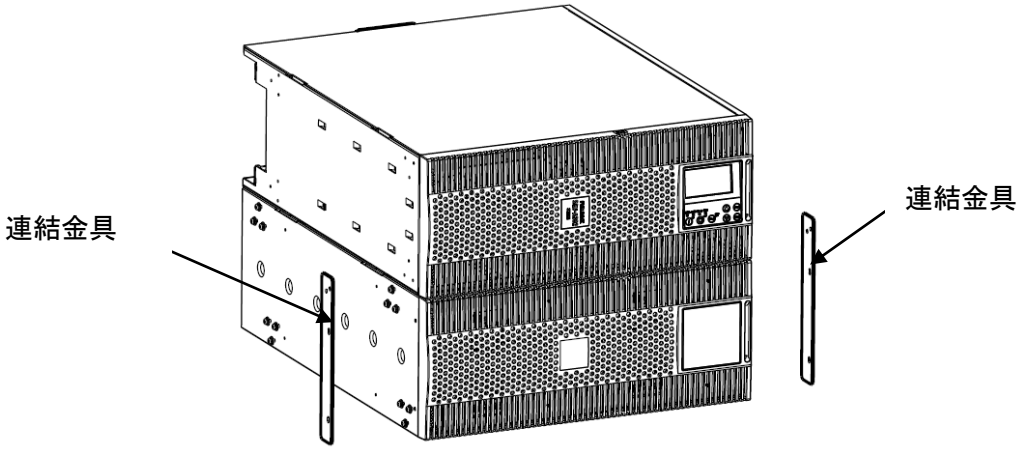
図のように正面から見て右側がバッテリユニットになるように並べる。
（逆側に配置するとケーブル接続ができません。）
本体上面の保護ラベルをはがし、付属の連結金具をネジ止めして連結する。



●横置きの場合

（※SAB-A51/A52 は横置きに対応しておりません。必ず縦置きで設置してください。）

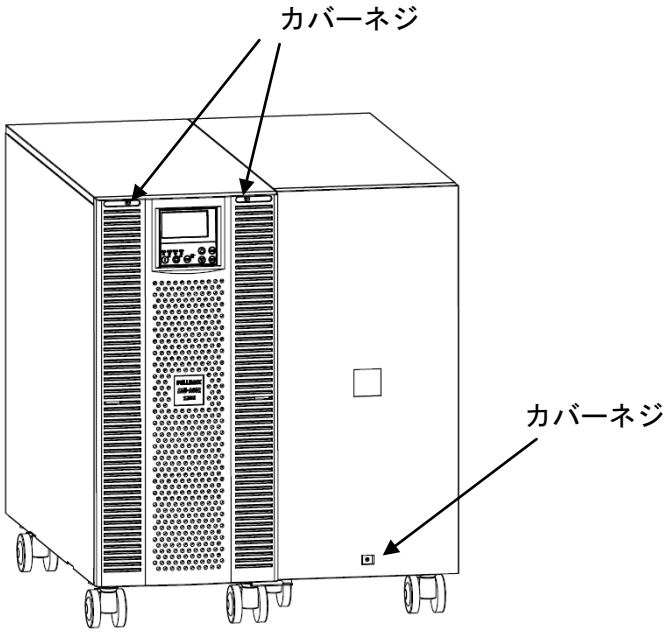
ＵＰＳ本体とバッテリユニットを図のように装置正面から見て右側に寝かせた状態で、キャスターを取り外し、連結具を本体側面にネジ止めする。



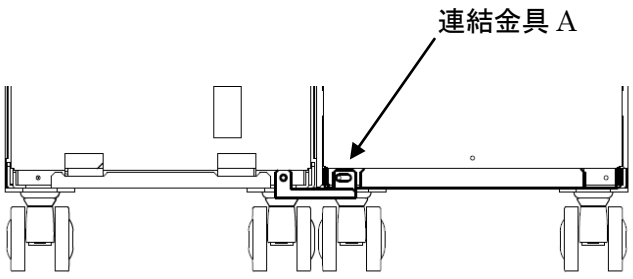
UPS との連結方法（SAB-A51/A52）

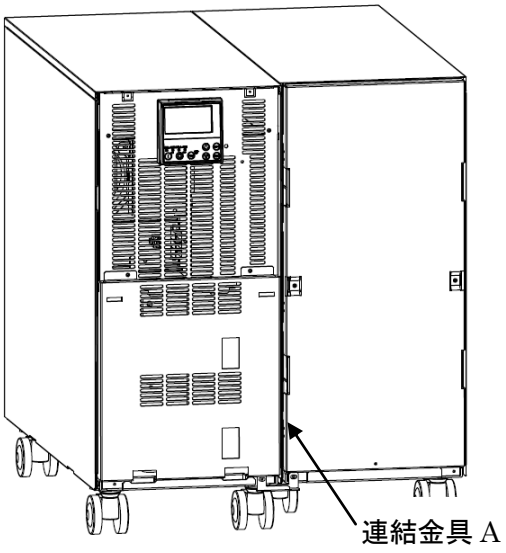
⚠ 注　意	
❗	**設置作業は必ず２人以上で作業を行ってください。** 重量物につき、けが、装置破損のおそれがあります。
❗	**ＵＰＳは重量物のため** **けがのないよう十分に注意して作業してください。**

図のように正面から見て右側がバッテリユニットになるように並べる。
（逆側に配置するとケーブル接続ができません。）
UPS 本体カバーネジを緩めてカバーをはずす。
バッテリユニットのカバーネジをはずして、
カバーをはずす。

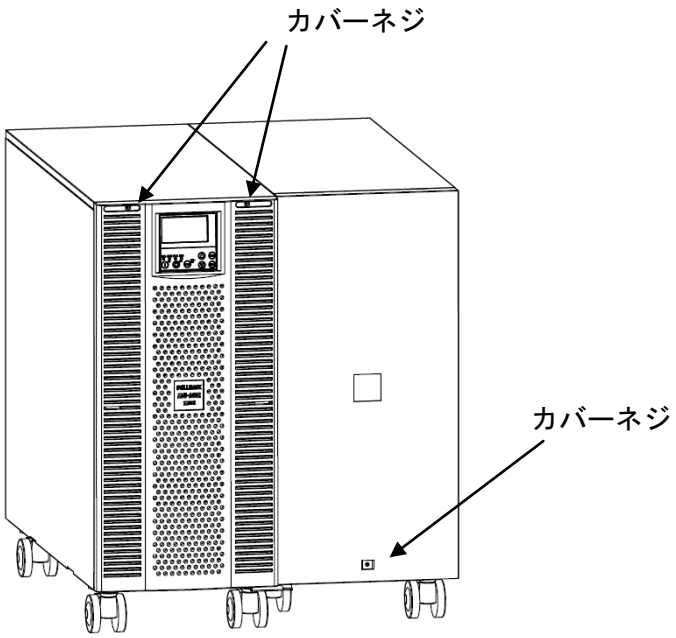


右図の位置に連結金具 A をネジ止めする。

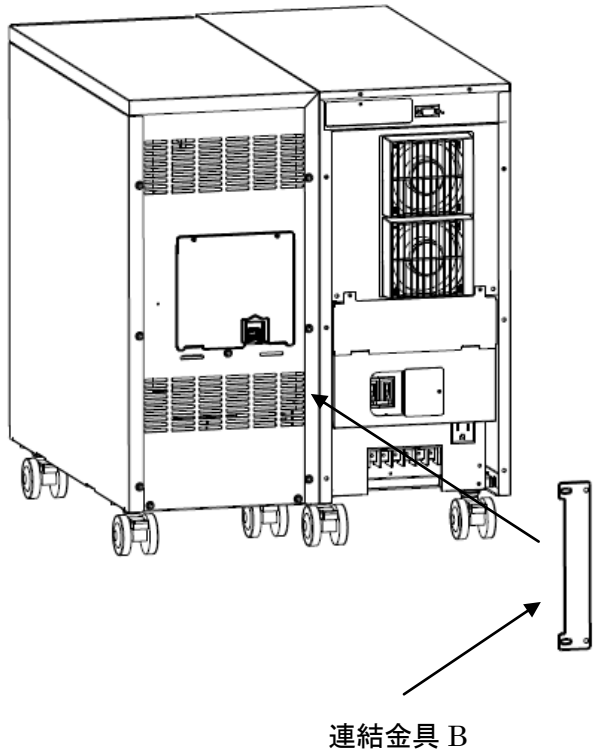




UPS 本体カバーを取付けてネジを締める。
バッテリユニットのカバーを取り付けて
ネジを締めつける。



背面の図の位置のネジを緩めて
連結金具を取付ける。



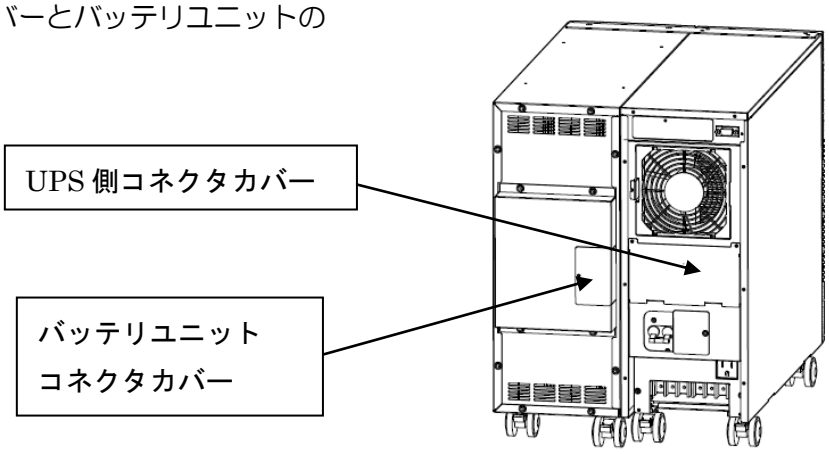
接続

UPS との接続方法（SAB-A21/A22/A31/A32）

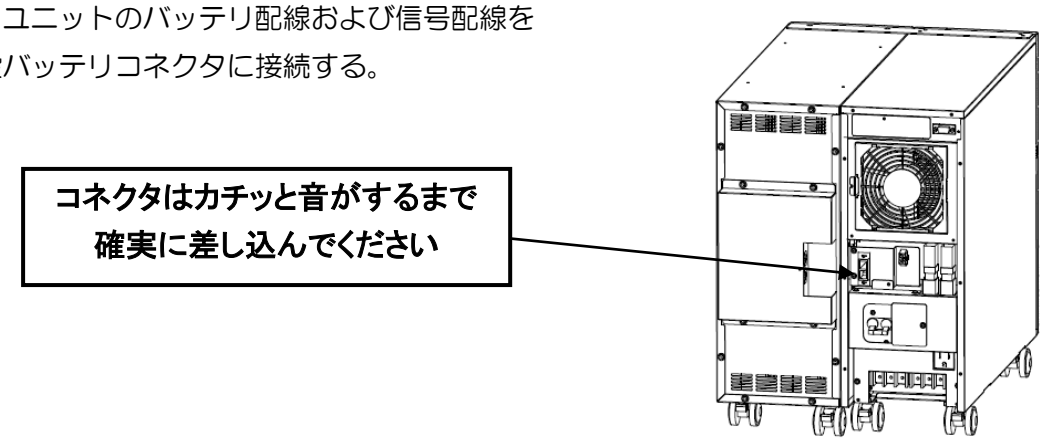
⚠ 注　意	
❗	**配線については必ずＵＰＳ本体の取扱説明書の配線の項目を参照してください。** 故障、破損のおそれがあります。
🚫	**接続コネクタの端子部に触れないでください。** 感電のおそれがあります。
❗	**安全上の注意事項を確認した後、作業を行ってください。** 感電、火災等のおそれがあります。
❗	**配線カバーは必ず取り付けてください。** 感電のおそれがあります。

●接続手順（縦置きを例に図示します）

①ＵＰＳ本体背面のコネクタカバーとバッテリユニットの
　コネクタカバーをはずす。

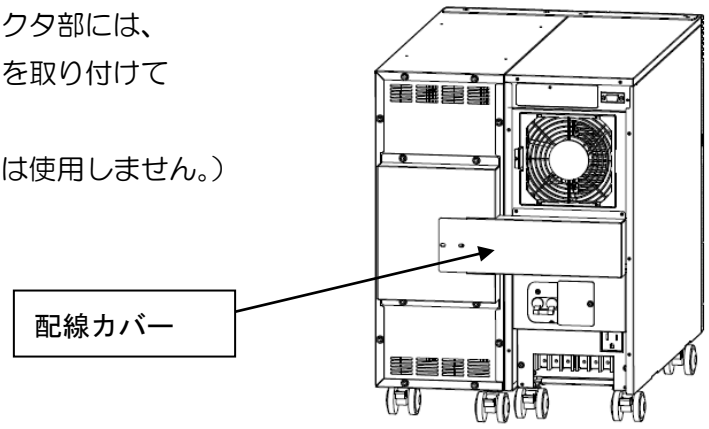


②増設バッテリユニットのバッテリ配線および信号配線を
　ＵＰＳの増設バッテリコネクタに接続する。



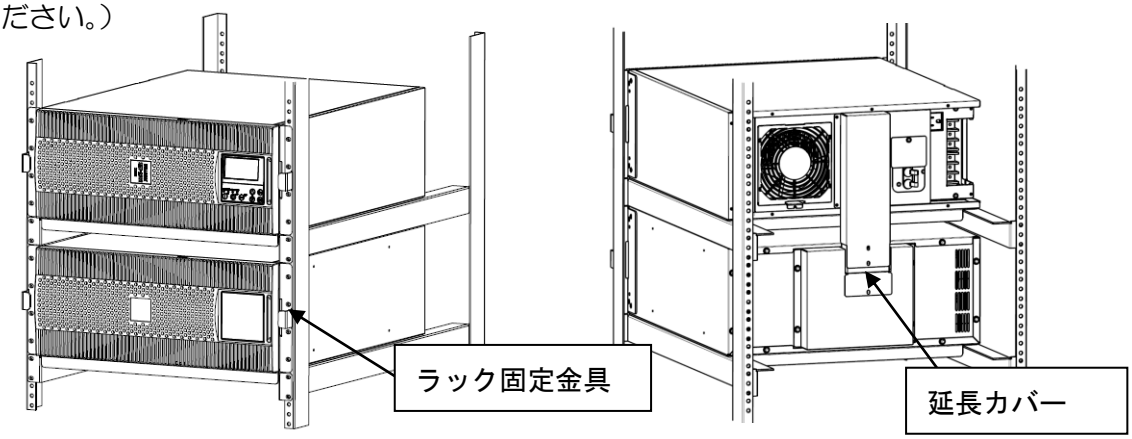
③増設バッテリユニットのコネクタカバーを閉めてネジを締める。

ＵＰＳ本体側の増設バッテリコネクタ部には、
増設バッテリ付属品の配線カバーを取り付けて
ネジを締める。
（装置から外したコネクタカバーは使用しません。）

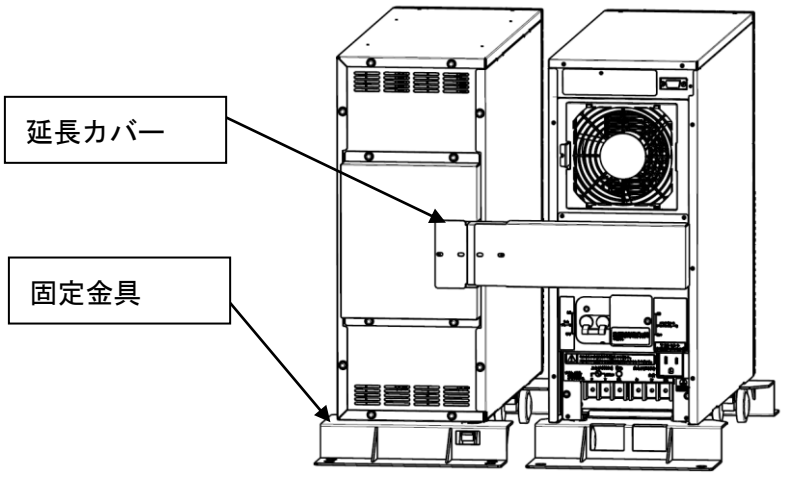


●配線カバーの延長（SAB-A21/A22/A31/A32）

①SAB-A21/A22/A31/A32 をラックに設置（オプションのラック固定金具 RMB-49/50 を使用）時、UPS 本体とバッテリユニットそれぞれに棚板（1U サイズ）を用意して設置する場合には固定金具に付属の延長カバーを使用します。（詳しくはラック固定金具の取扱説明書を参照ください。）



②SAU-A+SAB-A21/A22/A31/A32 を弊社旧製品（SAU+SAB）から置換える場合、アンカーボルトの固定穴を流用（オプションの専用固定金具 RMB-42 を使用）すると、装置間に間隔が空きます。固定金具付属の延長カバーを使用します。（詳しくは固定金具の取扱説明書を参照ください。）

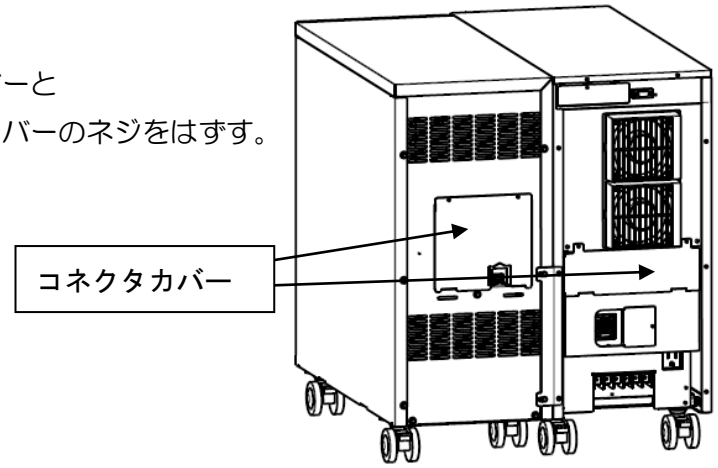


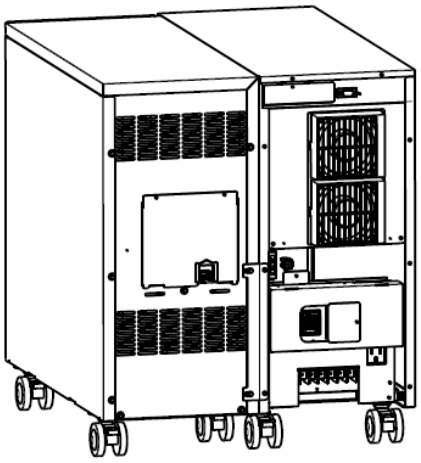
UPS との接続方法（SAB-A51/A52）

⚠ 注　意	
❗	**配線については必ずＵＰＳ本体の取扱説明書の配線の項目を参照してください。** 故障、破損のおそれがあります。
🚫	**接続コネクタの端子部に触れないでください。** 感電のおそれがあります。
❗	**安全上の注意事項を確認した後、作業を行ってください。** 感電、火災等のおそれがあります。
❗	**配線カバーは必ず取り付けてください。** 感電のおそれがあります。

●接続手順

①ＵＰＳ本体背面のコネクタカバーと
　バッテリユニットのコネクタカバーのネジをはずす。

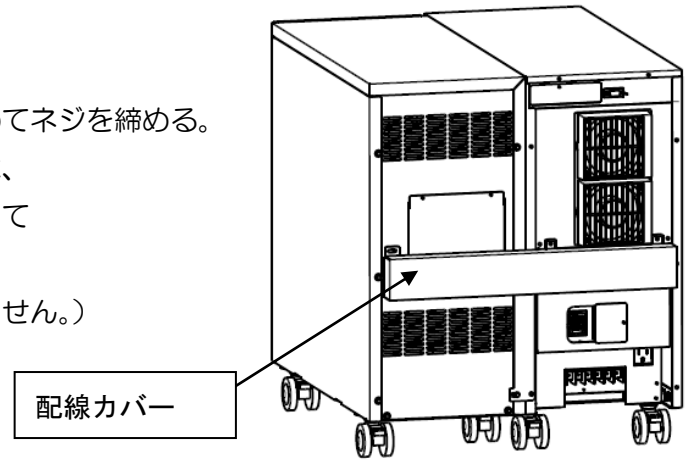




②増設バッテリユニットのバッテリ配線および信号配線を
　ＵＰＳの増設バッテリコネクタに接続する。

コネクタはカチッと音がするまで
確実に差し込んでください

③増設バッテリユニットのコネクタカバーを閉めてネジを締める。
　ＵＰＳ本体側の増設バッテリコネクタ部には、
　増設バッテリ付属品の配線カバーを取り付けて
　ネジを締める。
　（装置から外したコネクタカバーは使用しません。）



保守・点検について

⚠ 注　意	
	教育を受けたサービスマン以外は、カバーを外さないでください。 装置の修理又は故障部品の交換は、お買上げ販売店、又は弊社営業所に依頼してください。 **サンケン電気機器コールセンター　電話（営業）049-266-8528** カバーを開けると感電、やけどのおそれがあります。 充電電圧のないことを確認する前に、コンデンサやバッテリの端子などの充電部には触らないでください。 充電電圧で感電するおそれがあります。
	保守、点検、修理時には、取扱説明書をよく読んで、御理解の上、作業を実施してください。 作業に不備があると、感電、火災のおそれがあります。 ・作業前に時計などの金属物を外してください。 金属を付けたまま作業すると、感電、やけどのおそれがあります。 ・作業は外部設置のブレーカをOFFにし、電源を切り離してから行ってください。 感電、けがのおそれがあります。 ・絶縁対策工具（スパナなど）を使用してください。 ・絶縁対策工具以外の場合は、感電のおそれがあります。 ・濡れた手で装置に触らないでください。 感電のおそれがあります。 ・質量（製品に表示してあります。）を確認して、移動、分解などをしてください。 不用意に移動、分解するとけがのおそれがあります。
	交換部品は同一定格、同一タイプとし、新旧品を混ぜて交換しないでください。 火災の原因になることがあります。
	バッテリは定期的に交換してください。 寿命の尽きたバッテリではバッテリ漏液・発煙・発火などの二次障害を起こす原因となります。
	バッテリは内部に劇物の希硫酸を保持しています。 バッテリが漏液した場合は皮膚や衣料に付着させないでください。万一付着した場合はきれいな水で洗い流してください。 特に、液が目に入った場合はすぐにきれいな水で洗った後医師の治療を受けてください。 液が目に入ると失明、皮膚に付くとやけどのおそれがあります。
	使用済みのバッテリは、そのまま廃棄せず、お買い上げの販売店・最寄りの営業所にご連絡ください。 バッテリは内部に劇物の希硫酸を保持しています。バッテリを分解、改造もしくは、火の中に入れないでください。傷害や火災のおそれがあります。
	使用期限の過ぎたバッテリは使用しないでください。 発煙、発火の原因になることがあります

バッテリ取扱上の注意事項

⚠ 注　意	
	落下などの強い衝撃を与えないでください。 落下などの強い衝撃を与えると、性能劣化の原因になる恐れがあります。
	コネクタ部に金属棒、指などを差し込まないでください。 感電・けがの恐れがあります。
	バッテリ内部には劇物の希硫酸を保持しています。 バッテリから液漏れした場合は、皮膚や衣料に付着させないでください。 万一付着した場合は、きれいな水で洗い流してください。 特に液が目に入った時は、すぐにきれいな水で洗った後医師の治療を受けてください。
	使用済みのバッテリは、そのまま廃棄せず、お買い上げの販売店・最寄りの営業所にご連絡ください。 バッテリは内部に劇物の希硫酸を保持しています。バッテリを分解、改造もしくは、火の中に入れないでください。傷害や火災のおそれがあります。
	この製品には鉛蓄電池を使用しています。鉛蓄電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。鉛蓄電池の交換およびご使用済みの製品の廃棄に際してはリサイクルにご協力ください。

バッテリ廃棄に関するお願い

バッテリは廃棄物処理法で、ユーザーの責任において、手続きを踏んで廃棄しなければなりません。
バッテリは、鉛、希硫酸及びプラスチックが主な成分です。
これらは、廃棄物の分類として使用者により異なり、事業用に使用した場合は、産業廃棄物、家庭用として使用した場合は、一般廃棄物となり、各々廃棄方法や廃棄物の分類が次のように定められています。
事業用に使用した場合は「特別管理産業廃棄物」となります。
事業者が使用した（事業のために使用したUPS）バッテリを廃棄する場合は、特別管理産業廃棄物管理責任者を設置し、資格を有する運搬業者に依頼し、資格を有する処理業者に依頼して処理すると同時に、これらが確実に実施されたことを確認するために、定められた様式（マニュフェストという）の記録をとって、保管、報告する義務があります。
ただし、このマニュフェスト発行は有料となります。
又、家庭用に使用した場合は、地方自治体により、その対応方法が分かれていますので、各々の地方自治体にご確認ください。

標準仕様

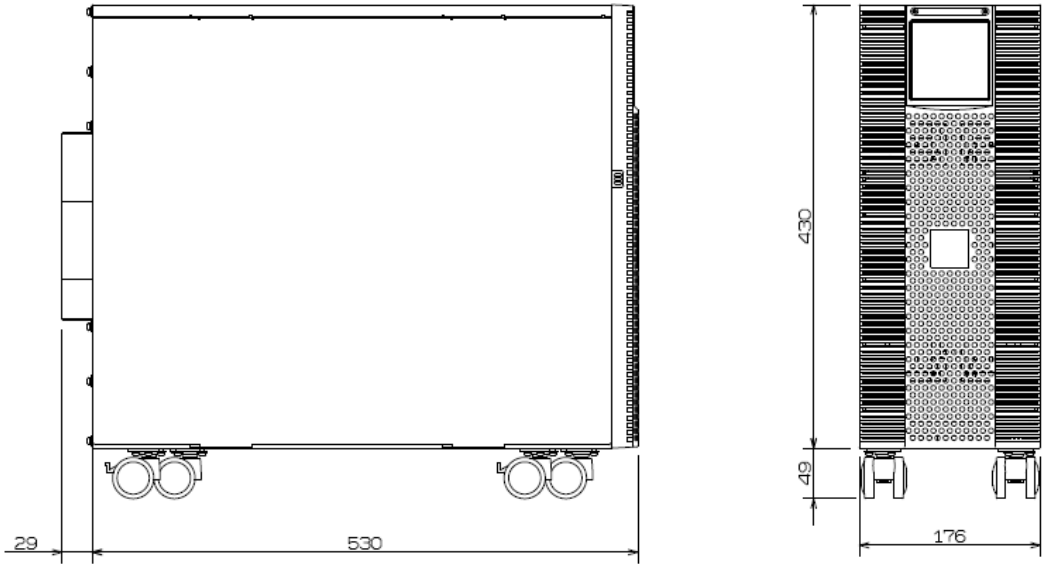
形式	SAB-A21	SAB-A22	SAB-A31	SAB-A32	SAB-A51	SAB-A52
適合 UPS 本体	SAU-A202		SAU-A302		SAU-A502	
バックアップ時間※１	約２０分	約４０分	約２０分	約４０分	約２０分	約４０分
充電時間※２	約３８時間	約５７時間	約３８時間	約５７時間	約３８時間	約５７時間
小型制御弁式鉛蓄電池	12V 7.2Ah ８個	12V 7.2Ah 16 個	12V 7.2Ah 12 個	12V 7.2Ah 24 個	12V 7.2Ah 20 個	12V 7.2Ah 40 個
本体寸法	W176×H479×D530				W245×H585×D595	
本体色	マンセル　7Y8/0.5　半ツヤ					
質量	約 41kg	約 65kg	約 46kg	約 80kg	約 81kg	約 139kg

※１　周囲温度 25℃　初期特性、負荷力率８０％にて

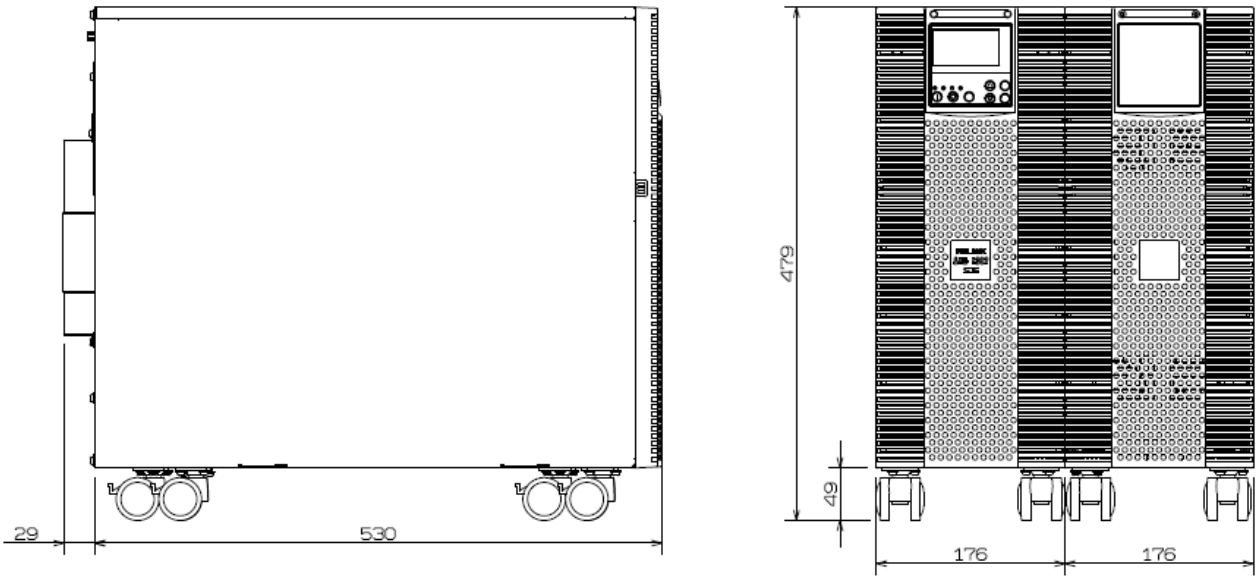
※２　参考値を示すもので保証値ではありません。

外形寸法

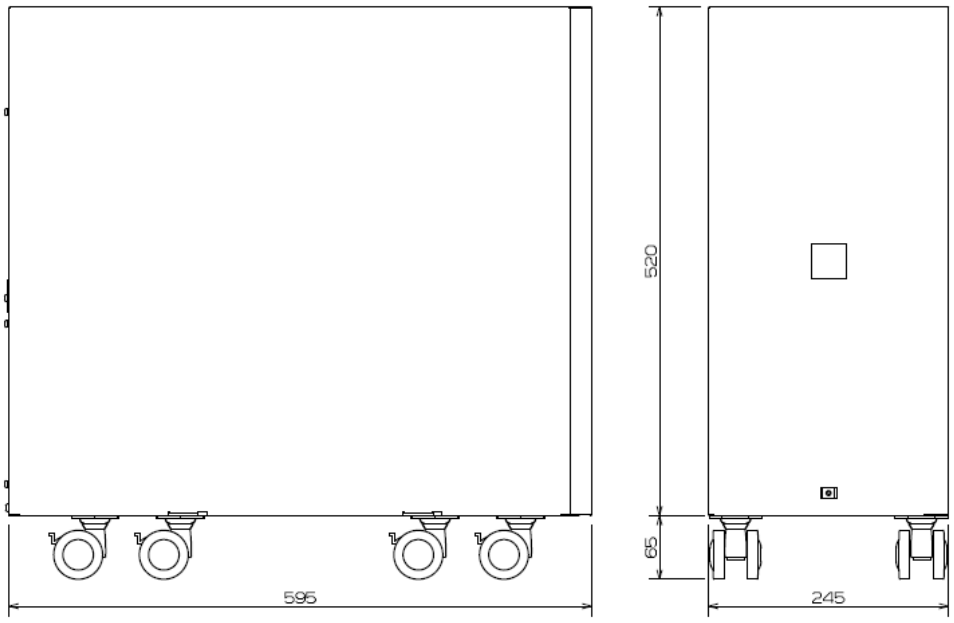
●SAB-A21/A22/A31/A32　（単位 mm）



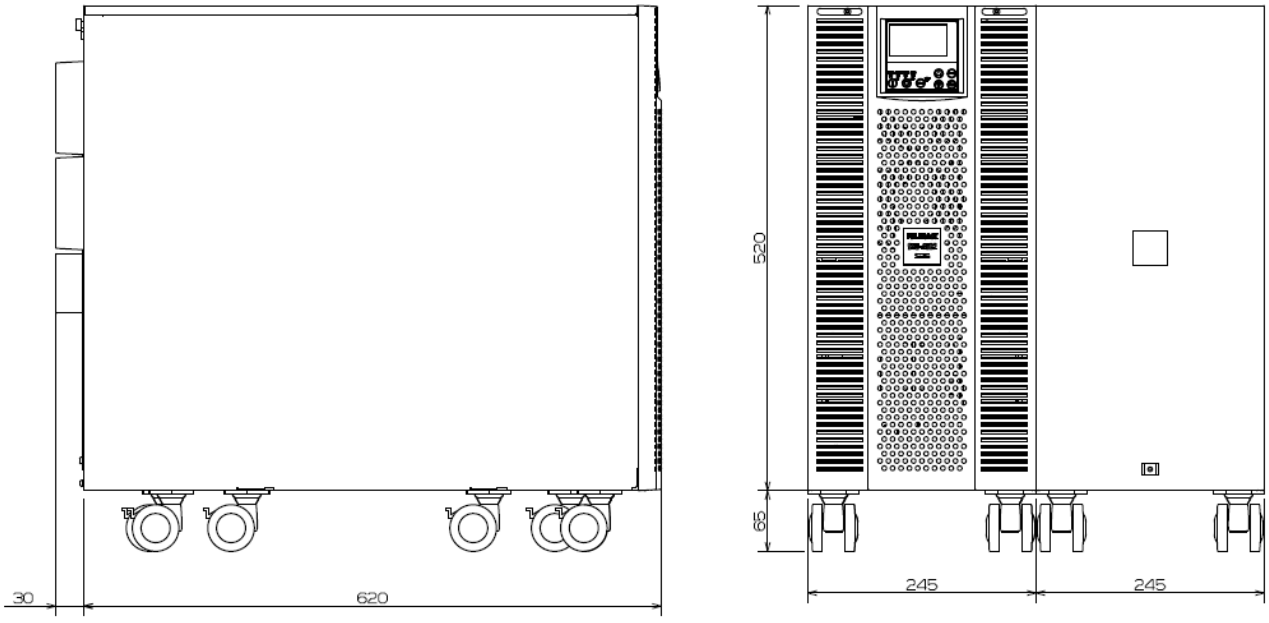
●SAB-A21/A22/A31/A32　UPS 連結時外形　（単位 mm）



●SAB-A51/A52　（単位 mm）



●SAB-A51/A52　UPS 連結時外形　（単位 mm）



C 版　2014.11

サンケン電気株式会社

http://www.sanken-ele.co.jp

東京事務所	〒171－0021 東京都豊島区西池袋１－11－１（メトロポリタンプラザビル）	TEL 03-3986-6157	FAX 03-3986-2650
大阪支店	〒530-0001　大阪府大阪市北区梅田 3 丁目 3 番 20 号（明治安田生命大阪梅田ビル）	TEL 06-6450-4402	FAX 06-6450-4404
札幌営業所	〒060－0051 札幌市中央区南１条東３－９－２（札幌ＭＩＤビル）	TEL 011-210-0855	FAX 011-210-0877
仙台営業所	〒980－0803 仙台市青葉区国分町１－６－１８（東北王子不動産ビル）	TEL 022-263-4168	FAX 022-224-5731
名古屋営業所	〒450－0002 名古屋市中村区名駅４－４－１０（名古屋クロスコートタワー）	TEL 052-581-2767	FAX 052-562-5801
金沢営業所	〒920―0022 金沢市北安江 3-6-6（北安江メッセヤスダビル４階）	TEL 076-223-2010	FAX 076-223-8792
広島営業所	〒731-0113　広島県広島市安佐南区西原一丁目４番７号（第２宮本ビル）	TEL 082-846-0161	FAX 082-846-0169
九州営業所	〒812－0011 福岡市博多区博多駅前２－２－１（福岡センタービル）	TEL 092-411-5871	FAX 092-473-5232

TEX48203-887C